

美術家・長坂真護さんの活動に協賛

三光産業株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：石井 正和）は、先進国が投棄した廃材でアートを作り続け、そのアートの売上をガーナ・スラム街の教育、文化、経済、そして人々へ還元する「サステイナブル・キャピタリズム」（持続可能な資本主義）を世界に広げながら活動する美術家・長坂真護さんの活動に協賛致します。



弊社が推進しているSDGsの一環としてナノAG+AIRマスクシリーズ国産規格外商品を長坂真護さんの活動を通じてガーナに寄贈致しました。

※国産規格外商品とは性能自体には問題ございませんが外観の一部が規格外のため、市場には流通しない商品になります。



は三光産業の登録商標です

■ 長坂真護さん プロフィール

MAGO CREATION株式会社 代表取締役美術家

MAGO Art & Study Institute Founder

1984年生まれ。2009年、自ら経営する会社が倒産し路上の画家に。2017年6月“世界最大級の電子機器の墓場”と言われるガーナのスラム街“アグボグプロシー”を訪れ、先進国が捨てた電子機器を燃やすことで生計を立てる人々と出会う。アートの力を使って、“我々先進国の豊かな生活は、このスラム街の人々の犠牲のもとに成り立っているという真実”を先進国に伝えることを決意。「サステイナブル・キャピタリズム」を提唱し、これまでに1000個以上のガスマスクをガーナに届け、2018年にはスラム街初の学校『MAGO ART AND STUDY』を設立。2019年8月アグボグプロシー5回目の訪問で53日間滞在し、彼らの新しい希望と生活のために、スラム街初の文化施設『MAGO E-Waste Museum』を設立した。この軌跡をエミー賞授賞監督カーン・コンウィザーが追い、ドキュメンタリー映画“Still A Black Star”を制作し、アメリカのドキュメンタリー映画アワードImpact Docs Awardで優秀賞4部門受賞。現在、公開へ向けて準備中。

